

## 2020年 東京オリンピック・パラリンピック競技大会に向けて

オリンピック・パラリンピック教育担当 佐藤 晋也

東京オリンピック・パラリンピックまであと190日あまりです。オリンピック・パラリンピック教育は、4つのテーマ（オリンピック・パラリンピックの精神、スポーツ、文化、環境）に4つのアクション（学ぶ、観る、する、支える）を組み合わせて学習を進めています。今年度は下記のような学習を進めてきました。

- 7月 環境について学ぼう～ソーラーパネルの学習について～（4年生）  
スポーツに対する熱意や思いを高めよう～日本体育大学体操部を招いて～（5・6年生）
- 10月 障害者陸上を学ぼう（5年生） 障害者への理解を深めよう～ブラインドマラソン～（4年生）
- 11月 障害者スポーツを知ろう～ゴールボール体験～（3年生）
- 12月 キッズ体操（1・2年生）

また、2月には6年生向けに「夢の実現」の授業もあります。今年度は特に、障害者スポーツへの理解を重点に置いて進めてきました。様々なアスリートや専門家を招いてオリンピック・パラリンピック教育を行うことも本校の大きな特色です。来年度は今まで実施してきた内容を見直しつつ、より充実したオリンピック・パラリンピック教育が行えるよう、準備を進めていきたいと思っております。また、8・9月にあるパラリンピックの観戦に向けて、事前学習の準備を進めていきます。

（本校の昇降口にオリンピック・パラリンピック教育の写真がありますので、そちらもぜひご覧ください。）

## イングリッシュキャンプ

4年団 隈元 一貴

11月6日（水）4年生のイングリッシュキャンプが、第二延山小学校のアリーナで行われました。当日は、英語のみでのコミュニケーションにドキドキした表情の4年生でしたが、様々な国から来た12名の外国人講師の楽しい自己紹介に次第に緊張がほぐれ、スムーズに活動へ移ることができました。ワールドツアーという活動では、イギリスや、ニュージーランド、ドイツ、フィリピン、カナダ、アメリカなどのブースを周り、講師の先生に各国の有名な食べ物や、スポーツ、文化などを紹介してもらいました。子供達は、パスポートを手に、各国の特徴に驚いたり、学んだことを熱心にメモしたり、クイズに答えたりと、積極的に参加していました。子供達から質問をしたり、各国の特徴を英語で言ったりと、自然に英語が口から出てきていました。お昼も講師の先生とクラスと一緒に食事をして、笑顔でコミュニケーションをとる姿が見られました。午後のプレゼンテーションでは、積極的に自分のことを話すことができました。このイングリッシュキャンプを通して、子どもたちは英語をコミュニケーションのツールとして活用し、様々な外国の文化に触れる体験ができました。今後も、英語活動を通して異文化や自国の文化を理解し、それぞれを尊重する心構えを築いていきます。

## 空手学習

6年団 宮林 清志

品川区では、5、6年生に「武道」の学習が必修となり、本校では、2年前まで荏原警察署の方にご協力いただき「柔道」の学習をしておりました。

そんな折に地域で空手の道場の先生としてご活躍されており、本校の保護者でもある定成先生に縁あってご指導に来て頂くことになり、本校では、「空手」を武道の学習として取り組むこととなりました。

定成先生にご指導して頂く内容としては、空手の歴史や武道で大切なこと、そして精神面の話を子供たちの心に染み渡るようにお話し頂きました。また、実技に関しては、基本的な型や、対人で実際に当てないように行う練習なども安全かつ丁寧に指導して頂いています。学年単位で2時間を2回分学習しています。

定成先生のお話の中で、印象に残っていることを5、6年生に聞いてみたところ、「本当に強い人は人に対して優しい」「強い人ほど謙虚」「相手がいるからこそ成り立つので、感謝の気持ちは忘れてはいけない」など、それぞれの子供たちの琴線に触れる言葉があったようです。また、「最初は恐いものだったけど、定成先生のおかげでしっかりとやれば安全だと思った。」という感想も多かったです。

東京オリンピックの種目でもある空手を、今回の学習で学んだ5、6年生を中心に本校でも盛り上げていきたいと思っております。